

2007年1月19日

報道関係各位

豊かな自然に恵まれた“醬(ひしお)の里”でしょうゆを造り続けて1世紀  
『マルキン醤油』創立100周年のお知らせ

ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社(本社:香川県小豆郡/代表取締役社長:小林武司、以下 JFLA)の事業子会社であるマルキン忠勇株式会社(本社:香川県小豆郡/代表取締役社長:佐藤正美)が有するしょうゆ事業ブランド『マルキン醤油』が、1907(明治40)年1月22日の創業より、本年で100周年を迎えることとなりましたので、以下の通りお知らせいたします。

このたび100周年を迎える「マルキン醤油」は、日本における主なしょうゆ産地のひとつである香川県・小豆島の地で、1907年(明治40年)1月22日に「丸金醤油株式会社」という商号のもと、しょうゆの専門メーカーとしてスタートしました。この頃、小豆島では100軒を超えるしょうゆ業者が存在していましたが、丸金醤油はしょうゆ業界の有志数人の手によって設立され、当時の生産高は約6千石(1,080kl)でした。翌年には早くも関西の市場に向けて出荷が開始されるなど、その後、全国規模のしょうゆメーカーとして発展を遂げ、現在の出荷量は32,518kl(2005年実績)となり、業界における大手五社の一角を成しています。また、2000年には、漬物メーカーである忠勇株式会社と合併したことで、新たにマルキン忠勇株式会社として生まれ変わりました。

今後、マルキン忠勇では、先日1月9日より発売を開始した天然醸造蔵仕込みのしょうゆ「100周年記念こいくち醤油 1Lボトル」を皮切りに、今年は創立100周年を記念した『マルキン醤油』ブランドの様々なしょうゆ・つゆたれ商品を発表していく予定です。

マルキン忠勇は、小豆島においてこれまで1世紀をかけ培ってきた伝統的製法により醸造するしょうゆをはじめ、トッピングを誇る「なら漬」を中心とする漬物、世界中から厳選してお届けする健康食品等、風土が育んだ食文化を継承しながら、これまで以上に消費者のみなさまに親しんでいただける企業を目指し、健康で豊かな食生活に貢献してまいります。

### マルキン醤油の沿革

- 1907(明治40) 丸金醤油株式会社設立、しょうゆ醸造を開始
- 1908(明治41) 初めて関西地域(京都、大阪、神戸)で製品を発売
- 1922(大正11) 摂政宮(後の昭和天皇陛下)ご行幸
- 1930(昭和5) 東京市場に進出
- 1934(昭和9) 小豆島内の醤油会社3社と合併
- 1940(昭和15) 満州醤油株式会社設立
- 1942(昭和17) 朝鮮丸金醤油株式会社設立、小豆島内にある醤油会社の工場15ヶ所を買収統合
- 1949(昭和24) 大阪証券取引所へ上場
- 1950(昭和24) 昭和天皇陛下ご行幸
- 1962(昭和37) 小豆島内の醤油会社4社と合併
- 1967(昭和42) 京都研究所(現在のマルキンバイオ㈱)を設立
- 1987(昭和62) マルキン記念館(小豆島)完成
- 2000(平成12) 忠勇株式会社と合併し、マルキン忠勇株式会社が誕生



マルキン忠勇株式会社



マルキン

- 2005（平成 16） 中国に大連丸金食品有限公司を設立、現地で日本式しょうゆ生産を開始  
 2006（平成 18） マルキン忠勇株式会社を純粋持株会社である「ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社」と、しょうゆ等の事業を担う”新設“の「マルキン忠勇株式会社」に分社、マルキン忠勇はJFLA グループメンバー企業

### マルキン印の由来

「丸」に「金」の文字のマルキン印は、香川県の金刀比羅宮のご紋章からいただいております。

### 天然醸造蔵

マルキン醤油創業時（1907 年）に建てられた、国の登録有形文化財に指定されているしょうゆ蔵です。小豆島の温暖な気候の中、天然醸造蔵に住み着いた微生物により、約 1 年かけて発酵・熟成させるため、まろやかでコクのある味わいと芳醇な香りが漂うしょうゆが生まれます。

外観...敷地面積 1,834 m<sup>2</sup>

長さ 95m 長大木造平屋建ての瓦ぶきで、京阪神地域の古い町並みでよく見られた風通し窓が並んでいます。菌の付着により壁が黒くなっていますが、これは諸味（もろみ）が無くなると消滅するため、壁の黒さは「醸造家の繁栄の証し」と言われています。

内部...秋田杉・木桶（1 本の容量は 5.4kl）487 本を保有（2007 年 1 月現在）

年間を通じて天然の諸味を安定供給することができます。人為的な温度調整や微生物の添加は一切行わず、住み着いた微生物により、約 1 年間発酵・熟成させ、味わい深い天然諸味を生産しています。蔵の柱や梁にこびりついた諸味は、創業以来、定期的に行い続けてきたかくはん作業を物語っており、発酵に適した“よい菌”だけが残って、見事な紋様を描いています。

### 小豆島におけるしょうゆ醸造の発展の歴史

小豆島には、文禄年間（1592～1595 年）に、紀州の湯浅（現在の和歌山県有田郡湯浅町）からしょうゆ造りが伝えられたとされています。この頃小豆島では、太閤・豊臣秀吉が大坂城築城のための石材切り出しを行っており、島民は、島を訪れていた豊臣家の家臣などがしょうゆを調味料として使っているのを知って、その製法を紀州に出向き学んだのではないかと考えられています。その後しょうゆ醸造は島随一の産業として発展、全国的な産地のひとつに数えられるようになりました。このようにしょうゆ造りが発展した理由としては、海運業の発達と関西という大消費地に近いという地理的条件、あるいは原料の小麦や食塩が島内で生産され、不足の場合も県内で調達が可能であり、大豆については九州から船によって簡単入手ができたこと、さらに、瀬戸内海のもたらす島の温暖な気候がしょうゆ醸造に大変向いていたという点があげられます。

### 【マルキン忠勇株式会社 小豆島工場概要】

- ・敷地面積 68,000 m<sup>2</sup>
- ・建物総面積 37,500 m<sup>2</sup>
- ・生産品目 しょうゆ、つゆ・たれ等調味料類、健康食品等
- ・生産量 年間 3.5 万キロリットル
- ・生産設備等 屋外発酵タンク（熟成期間 6～8 ヶ月）  
 ...300kl・4 本、140kl・8 本、120kl・20 本  
 天然醸造蔵（熟成期間 1 年、毎年 12～1 月ごろ仕込み）  
 ...木桶（5.4kl）・487 本  
 ISO9001：2000 取得（2004 年）

**【マルキン忠勇株式会社 企業概要】**

- ・社名 マルキン忠勇株式会社
- ・設立年月日 2006年2月1日
- ・本社所在地 〒761-4498 香川県小豆郡小豆島町苗羽甲 1850 番地
- ・電話番号 0879-82-1221 (代)
- ・代表取締役 佐藤 正美
- ・資本金 3億5,000万円
- ・株主 ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社(100%)
- ・事業内容 しょうゆ・調味料類、漬物類および健康食品の製造
- ・URL <http://www.marukin-chuyu.com/>

**ジャパン・フード&リカー・アライアンスグループ(JFLAグループ)について**

JFLAグループは、純粋持株会社である「ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社」のもと、食品・酒類製造、高級食材・酒類輸入、外食事業、研究・開発機関、ならびに販売会社等の機能を有した17社のメンバー企業が集合する、新しい形の食品関連企業グループです。当社グループは、風土に根ざした伝統的な食文化を継承しながら、ますます多様化するお客様のニーズに応える商品ならびにサービスをお届けすることで、健康で豊かな食生活に貢献してまいります。

<JFLA サイト URL : <http://www.j-fla.com/>>

**【主なJFLAグループメンバー企業】**

- 食品・酒類製造...マルキン忠勇株式会社 / 盛田株式会社 / 株式会社高橋弥次右衛門商店 / 加賀屋醤油株式会社 / 株式会社ハイピース / 聖酒造株式会社
- 食品・酒類輸入...株式会社アルカン 水産食材加工・販売...株式会社イメックス
- 外食事業...モリタフードサービス株式会社 研究・開発機関...マルキンパイオ株式会社
- 販売会社...ジャパン・フード&リカー・アライアンス食品販売株式会社
- ジャパン・フード&リカー・アライアンス酒類販売株式会社

.....

**<報道機関のお問合せ先>**

ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社  
 管理・企画本部 広報・IR 部  
 tel:03-5614-6671 fax:03-3660-1421

天然醸造蔵



小豆島工場



ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社  
本社 〒761-4498 香川県小豆郡小豆島町苗羽甲1850番地  
大阪本社 〒550-0003 大阪府大阪市西区京町堀1丁目8番33号  
東京本社 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目5番6号  
www.j-fla.com

Japan Food & Liquor Alliance Inc  
Headquarters 1850 Koh Nouma Shodoshima-cho Shozu-gun  
Kagawa Japan 761-4498  
Osaka Office 1-8-33 Kyomachibori Nishi-ku  
Osaka Japan 550-0003  
Tokyo Office 1-5-6 Nihonbashi kakigara-cho Chuo-ku  
Tokyo Japan 103-0014  
www.j-fla.com